

- 1・日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。  
 【三つの共同目標】2・日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。  
 3・日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

## 定例代表世話人会議開く

8月16日定例の代表世話人会議が開かれました。

はじめに室生昇筆頭代表世話人の挨拶を受けた後、中島信行事務室長より、情勢の特徴と各団体の特徴的な活動、緑区平民懇の組織強化と当面の活動などについて報告提案され、意見交流するとともに学習会の開催など具体化しました。

参院選の結果を受けた情勢討論では、消費税増税と社会



保障、原発、TPP、歴史認識と憲法問題など自公政権の暴走は益々ひどくなり、国民とのねじれはさらに拡大せざるを得ないこと。革新懇の構

成団体である日本共産党が躍進し議案提案権を獲得。今後の要求実現と政治革新への展望を持たせてくれ、政治を変える第一歩を築き、全国的な革新懇運動への励ましとなった。同時に、無党派層の人々との共同した闘いがいつそ重大事になってきていることが強調されました。

緑区内での運動では、憲法改悪の動きが強まっている中で、各地域の九条の会が共同して集会や学習会を開催していること。新婦人の緑支部が中心になってとりくんた、映画「ひまわり」の上映が成功したこと、年金者組合も各種署名活動にとりくみつつ、原水禁大会に代表を派遣していること、「緑市民病院のよりよい医療を願う会」が、緑市民病院の運営協議会や病院長との懇談をすすめていること、みどり区文化のつどい実行委員会主催の子どもの広

場、平和コンサート、みどりの響きが950人の参加で成功していること。15名が参加した緑区原水協の6・9署名行動や原水禁世界大会海外代表との交流集会の成功。初めて「原爆と人間」のパネル展が

「原爆と人間」のパネル展が



8月4日～9日まで行なわれました。

平民懇の組織強化について、総会で意見の出された「平民懇」の名称について引き続き議論していく。「なぜ、革新懇ではなく、平民懇なのか」再建の中心になった人に聞くことも含めて論議していくことにしました。また、

2013年度の会費納入の促進についても担当者を決めてすすめることにしました。

当面の活動では、TPP問題で9月29日(日)に、「食の安全問題を重点」に学習会をすることにしました。(後日、会場は有松コミセン。講師は、農民連にお願いいたします。)

原発問題、高濃度汚染水の海への放出問題など事態は深刻であり「さよなら原発」集会について11月には呼びかけの行動を起こし、広くよびかけて実行委員会を開いて民主的運営に努力し定期的に開催できるよう提起する。革新懇ポスター(憲法を守り生かそう)の張り出しをやりぬくことなど確認しました。



# 原水爆禁止世界大会

## 海外代表との交流のつどい開催

8月12日、2回目の「海外代表と交流のつどい」をアメリカのピースアクション組織責任者のジュディス・ルブランさんを迎えて緑生涯学習センターで行いました。緑区原水協代表の挨拶の後、原水爆禁止世界大会参加者3人の報



告。お一人は長崎で被爆され今原告として裁判で闘っておられる高井ツタエさんが久しぶりの長崎の思いを熱く語られました。その後、ルブランさんよ



り「軍事費を教育・福祉などの予算に回すと貧困はなくなる。草の根の運動でこの貧困の事実を伝えていきたい」と強い訴えをこめたお話がありました。質疑応答では、4人の発言があり活発な交流が生まれました。

プレゼントの有松絞りのスカートと新婦人会員の手作りぞうりに大喜び。「青い空は」の合唱で、連帯して草の根から非核の世界をと約30名の参加者は強く誓い

# 原水爆禁止2013年

## 広島世界大会に参加して

愛知県からは35人が参加した。「核兵器のない世界」の実現は可能でありそのカギが世界の市民の運動と世論であることを確信に、2015年NPT再検討会議にむけ「核兵器のない世界」への合意の実行に移すこと。核兵器の残虐性・非人道性を広範な人々に知らせ、核廃絶を求める世論を広めること。

原爆展・被爆者証言活動、「核兵器全面禁止のアピール」署名、「核の被害者をつくらせない」との願いを一つに原発からの脱却を求める運動との連帯を発展させること。軍事



費の削減、生活と雇用の改善、福祉の向上、民主主義、人権擁護、地球環境の保護等々などが討議された。

安倍首相は、記念式典では核廃絶を訴えるが、現実には集団自衛権だの日米安保条約に縛られ米軍基地の事故には何一つ対応できない。福島原発事故では、何一つ解決していないのに再稼働をめざし、憲法改悪など財界・アメリカ政府の圧力従っている現状が有る。

「青い空は」の合唱で、連帯して草の根から非核の世界をと約30名の参加者は強く誓い

緑区原水協 【沢田啓子】

も心に響き、感動するものであった。もつともつと活動を拡げていく必要性を痛感するとともに、2015年NPT再検討会議の成功と今世界大会の合意を実現するために力を尽くす決意である。

【西村徹男】

## 8月の

### 6・9行動

8月の6・9行動は特別です。ところが今年の8月6日（広島の日）は朝から大雨警報。この大切な日に行動出来ないのは大変残念でした。代替え日8月9日（長崎の日）は、午前10時から15名の参加で板のパネルを数枚並べて「この地球に核はいらない」と訴えることが出来ました。猛暑の中86の方が署名をして下さいました。4日から9日まで新しいパネル・原爆と人間・を初めて緑区生涯学習センターに展示しました。

# 「ひまわり」上映運動に取組んで

7月12日、地区会館で「ひまわり」を上映しました。暑い中、たくさんの方が足を運んで下さったことに思いの深さを感じました。

アンケートには「良かった」「感動した」「考えさせられた」「若い人に見せたい」といった声が寄せられました。

「字幕入り」にしたので聴覚障がいの方にも



広くお誘いすることが出来ました。ふだんの暮らしの中で当たり前のように見たり聞いたりすることを制約されている人たちが身近にいるとあらためて気付かされました。知らず知らずのうちに安易な方へ自分中心の考えに陥っていることに！

「ひまわり」は、基地のある厳しい沖縄の現実と隣接して普通の生活があり、子ども

たちが育っていることを知らせてくれました。他人事ではないと強く感じました。基地を無くす方向へ、私もできることを続けたい。

【内山春枝】

## 戦争を語る会と落語寄席

8月4日(日)有松桶狭間9条の会は、有松コミセンにて戦争を語る会と落語の会を2名の参加で開催しました。小澤代表は挨拶の中で、亡くなったお父さんの話を紹介し戦争の悲惨さと残酷さを語ってくれました。

### 有松桶狭間9条の会

なかで、戦争は二度と起こしてはいけないと宮崎での小学校時代をとつとつと語ってくれました。

語り部として参加していただいた武本盛人(80歳)さんは、戦争がひどくなるにつれ尋常小学校が国民学校に名を変え、教育の中身も戦争体制へと大きく舵を切っていく様子、国語の教科書がサイタサイタサクラガサイタからススメススメ兵隊さんススメと

いう様に。修身は、菊池一等兵は死ぬまで銃を話しませんでした等、軍国主義教育のすさまじさが武本さん自身を軍国少年に育て14歳で海軍に志願するまでにしてしまったこと。やがて空襲がひどくなり原爆が落とされて終戦に至る

福岡さんは、紀元2600年の祝いが天満社で行われ紅白のまんじゅうをもらったこと。やがて戦争が進むにつれ紀元節にでていた饅頭がなくなり、昭和16年12月の開戦以降物資が不足していき、やがて配給制になり、米は軍隊が徴収し市民は買い出しにいき物々交換で物を手に入れるしかなかったこと。校庭は畑になり、空襲で有松は燃えなかつたが高台から大幸の三菱

が燃えているのが見えたくらい焼け野原になった。大本营発表はあてにならないことを自覚させられた。戦争は絶対いけない、声を大にして言いたいと有松での戦争体験を語っていただきました。

新馬亭写楽さんの落語も楽しく笑って聞かせていただきました。楽しい集いになりました。20代を含む新しいメンバーが多く参加されて今後が楽しみな集いとなりました。

【鈴木幸雄】

## 文化交流とバーベキューの集い

日中友好協会緑支部主催

10月6日(日) 会場 佐藤内科

中国を代表する崔学東さんの  
二胡演奏

第一部

二胡演奏

会費 500円

第二部

バーベキューの集い

会費 800円

要事前予約

崔学東さんの

プロフィール

中国遼寧省生まれ、六歳

から二胡を学ぶ。潘陽音楽

学院二胡専攻 2007年

来日し、日本各地で演奏活

動を行う。

申込先

伊藤充久 090-6579-7278 柳田常樹 090-1755-2632

# 真夏の電力使用ゼロで

## 原発ゼロに貢献

棚橋秀伍

猛暑日の7月9日午後2時の我が家の電力使用量は実質ゼロを達成している。

梅雨明けとなった今週の「こ」は連日猛暑による熱中症死者

の数を伝えてい

る。猛暑による電力使用量が午後1時〜3時にピーク

となり発電能力の限界に接近すると

電力危機となることから、節電が呼

びかけられている。3・11以降

国民の節電協力に

より危機は起きていない。原発推進を目指す安倍政権に口

実を与えないよう、我が家でも緑のカーテンと葎のすだれ

を設置して、外部の輻射熱が窓から部屋に入るのを妨げるようにしている。太陽光発電

装置は順調に発電しているの

で、2台の冷蔵庫、2台の扇風機、2部屋のエアコンを

29℃設定で動かして、一番暑い時間に使用電力は丁度ゼロであった。緑のカーテンにつる草のルビースターを植え

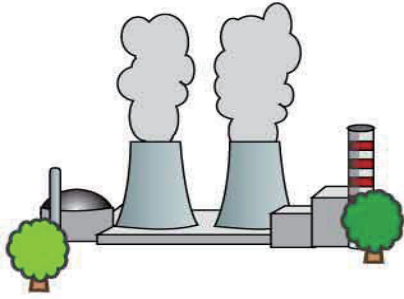
たが、未だ十分に成長して

いないため、プラスチックのグリーンカーテンで上部をおぎ

なっている。赤い花が咲き始めたので、これからが楽しみ

である。原発を無くすため自然エネ

原発を無くすため自然エネ



ルギー(再生可能エネルギー)による発電を推進すること  
も、我々一般庶民出来ること  
である。私は我が家の太陽光



pixta.jp - 2948161

発電以外に、市民参加型の小水力発電事業、市民参加の中規模の太陽光発電事業に協力するため、僅かであるが投資している。前者の事業は1回目の利益3%の配分と元金の返還が始まった。後者はこの年末に分配が始まる。

このような事業は今後も企画され資金の募集が行われ、ネットで募集の情報を見つけることができる。10万、20万の余裕資金があれば検討しても悪くないと思うのだが。

## 第59回愛知母親大会 In 豊橋

2013年9月8日(日) 午前10時~午後4時30分

アイプラザ豊橋 愛知大学豊橋キャンパス6号館

記念講演 池田香代子さん

「憲法という風に乗って、私たちは」

発行

平和・民主主義・暮らしを守る緑区懇談会

所在地 458-0801 名古屋市緑区鳴海町花井9-3

ラ・フォーレ1F

☎ 052-625-0950 FAX 052-625-0904

e-mail : heiminkon@yahoo.co.jp

編集責任者 緒川文字

■今年の夏は猛暑の日が続き雨も地域によっては豪雨となり記録的な夏だった。今年も8月の大半を故郷長崎で過ごしたがこちらも最高気温の記録を更新。畑は土がからからに乾き作物は青息吐息、「雨が降らないので海水温が上昇し魚もどこへやら」と嘆く漁師。田舎の家々も既にクーラー設置済み。  
温暖化の進行か、それとも一過性か。快適な夏を忘れてしまふような夏だった。